

2026年2月完成予定 -新校舎建築について

京都薬科大学の教育・研究環境の更なる充実を目的として、躬行館（図書館棟）北側に地上4階建ての新校舎を整備することが決定し、2024年11月から建築工事がスタートしました。新校舎建築工事の工期は16カ月を予定しており、2026年2月竣工予定、2026年度前期から学生の教育・研究活動の場として供用が開始される予定です。

新校舎には大人数の学生が共に学び合える450名収容の大講義室、先端的研究の核となる「シナジー研究施設」、学生の学びを支える「ラーニングサポートセンター（仮称）」、学生実習室の設置を予定しています。



プロムナード



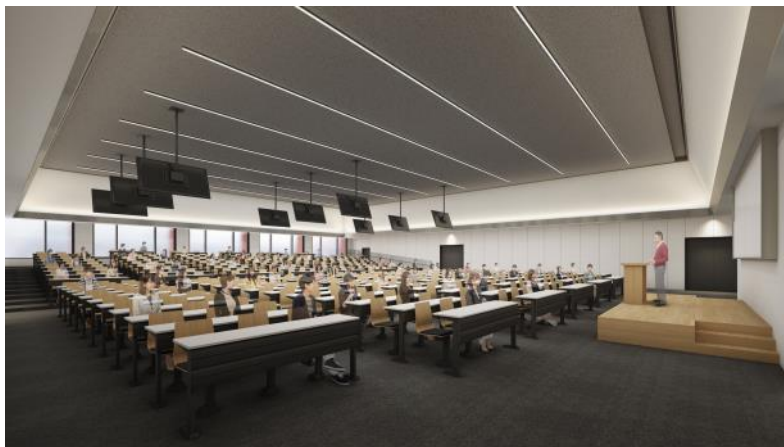
外観



《新校舎の概要》

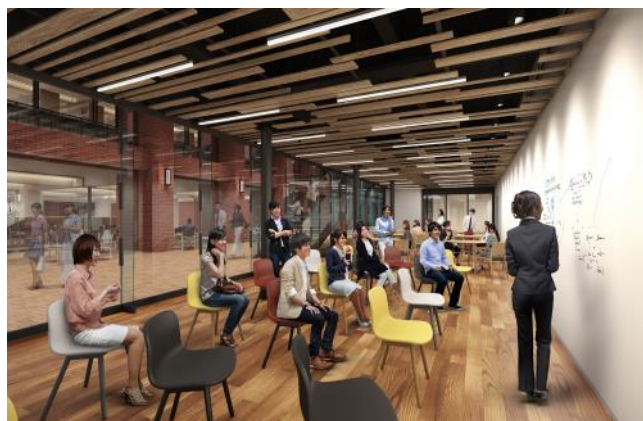
- ◆建設場所 京都市山科区御陵中内町5番地（本校地内）
- ◆建設規模 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造、地上4階建 建築面積 927㎡ 延床面積 3,251㎡
- ◆主要用途 大講義室（450名）、シナジー研究施設（仮称）、実習室（100名）、学生実習支援センター、薬学教育研究センター、ラーニングサポートセンター（仮称）
- ◆工事期間 新校舎建築工事期間：2024年11月～2026年2月
- ◆設計・監理 株式会社東畑建築事務所 ◆施工 大日本土木株式会社

4階に設置する講義室は、450名の学生を収容できる大講義室ながら、ICTを活用した双方向型授業の展開や学生持参端末の活用にも対応し、共に学び合う場を提供できる講義室とします。また、大講義室は他講義室との連携性を有し、本学の新たなランドマークとなるホールとして、各種シンポジウムやオープンキャンパスなどの主会場の役割も担うことが期待されます。



本学の先端的研究を推進するためのネットワーク型共同研究基盤の整備・強化を目的とした「シナジー研究施設」を、3階に設置いたします。本研究施設の設置により、オリジナリティーの高い研究成果の創出と本学教育プログラムへの還元を目指します。加えて、「シナジー研究施設」は、大学院生やポスドク研究者に研究交流の場を提供することにより、「研究の京葉」の中心的役割を担うことも目指します。

学部教育を支える「ラーニングサポートセンター（仮称）」の設置に向けて、初年次から6年次までの学修支援を担う「薬学教育研究センター」と学部学生の実習を支える「学生実習支援センター」を、アクセスが良い新棟1～2階に集約します。2センターが連携して学生の学修を支援することで、低学年次からアカデミック・スキルを育成し、学びの可能性を広げていく教育モデルを確立します。また、「ラーニングサポートセンター（仮称）」は、プロムナードを挟む図書館機能とも有機的に連携することも目指します。

[illegible]